

ハッピーリタイア計画 (CAP)

社外内部役員を目指し問題を共に解決します

社長と会社は一心同体！！
将来を一緒にかんがえましょう



元々「法人」と「個人（社長）」とは一体であり、どちらか一方だけでは決して解決できない問題があります。社長が会社を引退したあとにいくら資金(生活費)が必要かをシミュレーションすることで今取っている役員報酬が適正なのか？診断します。節税だといって会社に利益を残さずすべて役員報酬で取ってしまっていないでしょうか？次の世代に会社を残していくためには会社と社長個人を一体として考え問題解決を図る必要があります。また将来の相続税はいくらかかるのか資金手当は出来ているのか将来のために今から準備を始めましょう!!

CAP

A chart of Captain

船長の航海図

将来に不安はありませんか？

会社・個人の資産の構成が現在のままで引退後も大丈夫かな…？

退職金はいくら取れるの？取らないといけないの？

自分の会社の株式評価が高くなり、このままでは長男に跡を継がすができないかも…？

役員報酬が毎年下がっていったら、生活はどうなるんだろうか？

借入金があると相続では有利と聞かすが、実際どう有利なんだろう？

相続が争続になってめると良く聞かすが、どうすればよいの？

社長ご自身の将来の資金計画を法人と個人の両面から確認し、現在の意志決定のお手伝いを行います！

CAPで何が出来るの？

～対話形式の質問に答えるだけで～

- ・役員報酬は何時まで、またいくら確保出来ますか？
- ・自社株は、何株お持ちですか？
- ・土地や建物の不動産はどのくらいの評価ですか？
- ・有価証券はお持ちですか？
- ・社長を退いた後の会長職等をお考えですか？
- ・ご勇退後の生活はどのようにお考えですか？ etc ..

～今後、生活にかかる費用を折れ線グラフや表で～

今の生活水準を保ち、また今後の計画を診断した結果、大きく資金が足りない結果となりました。旅行や教育費をはじめ、生活パターンの見直しと同時に、「役員報酬」や「退職金」の増額ができるように、法人に戻り、利益計画や事業計画を再度練り直す必要がありそうですね。

このままいくと将来の資金については安心できますが、その分「相続」時の現金不足の心配が出てきました。自社株対策はどのようにしていくのか？生前贈与をどのようにしていくのか？等々、相続対策を今から考えていかなければなりません！

社長と会社は一心同体

法人

個人

自社株
相続税
退職金の額と時期 等

元々「法人」と「個人(社長)」とは一体であり、どちらか一方だけでは決して解決できない問題があります。

お客様の声

色々なシミュレーション(万が一)をした結果、100歳まで生きても資金には全く問題がない。逆に、自社株対策や相続対策が必要になることが分かりました。漠然と老後が心配で報酬を減らせないでいたましたが、むしろ乗っている船(会社)を強くすると、乗組員(社員)を強くすることが将来、より安全だとわかりました。お陰で、漠然と思っていたことを具体的にいくらまで動かせるか判り、安心して行動に移せます。

自分の生活は何とかなるだろうと、頑張っただけで会社に金を残そうと報酬を下げていました。起り得る色々なパターンをシミュレーションしてみると、自分の生活が数年ともたないことが充分あり得るとハッキリ分かりました。会社の経営を抜本的に見直さなければと考えながらも、未だに着手できていなかったのですが、今日から早速考え直します。

新規のお客様 50,000円

顧問契約のお客様 10,000円

元気フォーラム会員様 無料

対話形式の簡単な質問にお答えいただくだけでおおよその目安がわかります

大森税理士事務所

〒260-0021
千葉県千葉市中央区新宿2-1-20
結城野ビル6階

電話 043(248)0501

FAX 043(247)8435

Email: info@omori-kaikei.co.jp